浜松市水産業振興基本計画概念

１．基本理念

浜松市水産業の置かれている情勢と浜松市の特性を考え合わせて、水産業振興の基本理念を以下のように定めました。

“やらまいか！元気でにぎわいのある浜松の水産業”

これは、浜松の気質である「やらまいか精神」で新しい水産業に挑戦しよう、元気でにぎわいのある地域に根ざした夢のある水産業を目指そう、みんなが知恵を集め、みんなの手で、自分たち独自の水産業を作ろう　という意気込みを込めています。

２．浜松市が目指すべき 10 年後の水産業の将来像と数値目標

基本理念に従い、浜松市の水産業を振興し、実現しようとする『浜松市が目指すべき 10 年後の水産業の将来像』を以下のように定めました。

①安全に、安心して、安定的に市民の食生活を支えられる水産業。

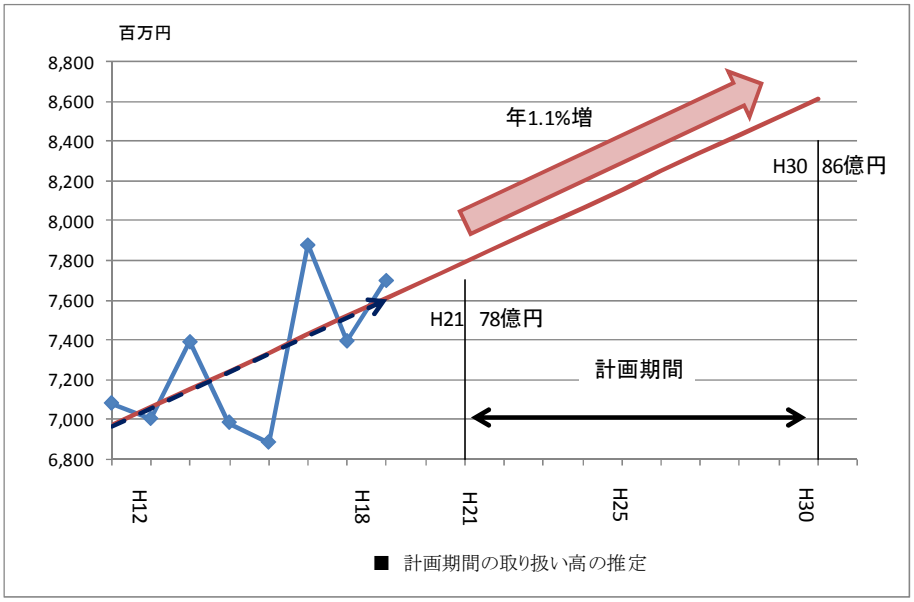
②地域の水産資源を最大限に活用し、次世代に資源と環境を継承する水産業。

③水産業が持っている地域特性や自然環境、食文化の情報を市民に提供する。

④地域の産業と連携し、新たな水産業に取り組み、全国に浜松産と浜松の水産業を発信する。

近年の浜松市の主要な水産業協同組合の年間取扱高の推移から今後の伸び率を 1.1%と推定しました。

このことから、浜松市水産業振興基本計画における数値目標は、**年 1.1%増**　とします。なお、数値目標は、計画期間中の動向に応じて見直しを図ることとします。



３．浜松市水産業振興の戦略

基本計画の構成は、骨格となる４本の柱として水産業振興戦略を掲げました。

各戦略には､各戦略ごとの趣旨と方向性を表したリーディングプロジェクトを配し、その下には課題を解決するための重点プロジェクトが位置づけられています。

⑴水産業経営の安定化戦略

水産業振興の基礎となる、水産業経営を安定して、強固なものにするための戦略です。

戦略の方向性を示すリーディングプロジェクトとして、『水産業経営の基盤整備』と『水産物価値の向上・安定』の二つをあげました。

⑵水産資源の持続的利活用戦略

水産業の振興、発展はとりもなおさず水産資源の存続に依存しています。すなわち海や川、湖にいつまでも魚介類が生育していないと水産業は成り立たないのです。

ここではリーディングプロジェクトとして『持続的な資源管理』、『水産資源の背景としての環境保全』の二つをあげました。

⑶水産業の情報戦略

経営の安定のためにも、資源の利活用にとっても、水産業だけの内輪の対策では対応しきれません。

広く異なる業種間であったり、異なる地域であったり、消費者、一般市民との間であったり情報のやりとり、コミュニケーションを取ることが大変重要なポイントとなります。

リーディングプロジェクトとして『水産業情報の提供と活用』をあげました。

⑷水産業クラスター形成戦略

“クラスター”とは、都市計画や新産業形成の計画に用いられる用語で、いろいろな要素が結びついて一つの固まり、集団を作っていく様子を表します。

ここでは、水産業が目指す新たな形として、他の産業と結びついて新たな水産業を形成してゆくこと、浜松の地域産業、観光、サービス業と結びついて新たなビジネスを生み出してゆくことを目指す戦略です。新たな結びつきに挑戦する、まさに“やらまいか”精神の発揮のしどころと言えます。

リーディングプロジェクトとして産業間の連携の機会づくりや運営面の支援を重点として『水産業と地域産業の連携促進』をあげました。

浜松市水産業の将来像を実現する浜松市水産業振興基本計画の全体像を、図１浜松市水産業の将来像プランに示します。

また、浜松市水産業振興の戦略を進めるプロジェクトの構成を、図２浜松市水産業振興基本計画体系図に示します。

図1　浜松市水産業の将来像プラン

浜松市水産業の状況 と 水産業振興基本計画策定のねらい

広域合併　＝　拡大と分散　→広くなった市域と水産業の多様化に対応
市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」
◆共生・共助でつくるひとつの浜松、豊かな地域　→　みんなでつくる
◆やらまいか精神で飛躍させるものづくりの伝統　→　新しいことに挑戦する
◆自然環境と調和する都市文化の振興・発展　→　地域の自然を大切に
☆次世代に続く水産業の展開
・次代の担い手育成
・市民生活を支える　：　安心安全な食を安定供給
・地域特性を活かした産地力強化

浜松市の強み・特徴

〇ものづくり産業の集積
〇豊かな文化：地域の個性あふれる文化活動
〇世界性：海外経験を積んだ市民、数多い外国人市民
〇恵まれた自然環境：広大な森林、天竜川、浜名湖、遠州灘
〇全国に類を見ない地域の多様性：都市機能、都市近郊型農業、中山間部、沿岸部

日本の水産業をとりまく情勢
※平成19年度水産白書概要

・低位水準にとどまる資源回復
・海面、内水面を通じた水産動植物の生育環境の改善
・水産物輸入減少、輸出増加、輸出拡大への取組
・産地、消費地市場の機能強化と供給コストの縮減
・水産物の安全確保と表示の改善、充実
・魚食文化の普及と食育の推進
・漁業就業者の減少と高齢化
・担い手の育成と活力ある就業構造の確立
・新しい経営安定対策の導入
・漁村の生活環境改善と防災力強化

基本計画策定のコンセプト

□浜松市全市域を網羅する。
□水産業は第1次産業から流通・加工も視野に入れ、観光との連携を図る。
□水産業が自ら発展する支援に重点を置く。
□静岡県、隣接市町との連係を図る。
□広く関係者からの意見を取り入れ、多方面から検討する。

プラン策定の視点

■　消費者の視点に立つ
■　観光・サービス産業と連携する
■　地域の環境に対応する
■　水産物の価値向上、競争力強化を目指す
■　PRを推進し、情報を発信する
■　地域と連携する
■　持続的な資源管理と効率的な生産基盤整備

浜松市の各水産業をとりまく情勢：作業部会指摘事項

沿岸漁業を取り巻く情勢
☆水産基地・基盤の再整備
・舞阪漁港再整備
・ノリ養殖施設改善
☆魚価の向上・安定
・地域特性に見合った漁業調整
・流通経路の開拓
・複合的な漁業経営
・消費者と向き合った場つくり
・安全と信頼を提供できる仕組み

湖面漁業を取り巻く情勢
☆水産基地・基盤の再整備
・村櫛漁港再整備
・航路維持
☆浜名湖資源の管理と強化
・生息環境の改善
・操業ルールの確立と遵守
・資源増強に向けた取組
・浜名湖産水産物の販売戦略

内水面漁業を取り巻く情勢
☆自然と環境との共生
・河川環境の維持
・川・湖・海一体の総合資源管理
・自然環境の市民への提供
・水産物品のPRと新規開拓
・環境への取組のPR

養殖業を取り巻く情勢
☆生産基盤支援
・用水井戸規制の緩和
・燃料、エサの高騰対策
・シラスウナギの確保難
・魚病対策の向上
・後継者確保対策
・盗難防犯
・組合経営の安定化
☆地産地消の推進
・安心安全に対する取組のPR
・販売戦略の強化

浜松市水産業振興の基本理念

やらまいか！　元気でにぎわいのある浜松の水産業

浜松市が目指すべき10年後の水産業の将来像

①安全に、安心して、安定的に市民の食生活を支えられる水産業。
②地域の水産資源を最大限に活用し、次世代に資源と環境を継承する水産業。
③水産業が持っている地域特性や自然環境、食文化の情報を市民に提供する。
④地域の産業と連携し、新たな水産業に取り組み、全国に浜松産と浜松の水産業 を発信する。

浜松市水産業振興基本計画

水産業振興戦略

水産業経営の安定化戦略		水産資源の持続的利活用戦略		水産業の情報戦略	水産業クラスター形成戦略
リーディングプロジェクト					
水産業経営の基盤整備	水産物価値の向上・安定	持続的な資源管理	水産資源の背景としての環境保全	水産業情報の提供と活用	水産業と地域産業の連携促進
重点プロジェクト					
●舞阪漁港整備と機能保全 ●村櫛漁港整備と機能保全 ●ノリ養殖施設改善 ●航路安全確保 ●増殖場造成 ●魚礁漁場造成 ●養殖用水確保 ●河川整備計画対応 ●経営基盤支援	●生産者、仲買共同の販路開拓 ●消費者ニーズの把握 ●衛生管理対策 ●水産物流通の透明性の確保 ●新たな地域水産物の開発 ●地元消費拡大 ●販売促進PR活動の推進	●地域特性を反映した漁業調整 ●造成漁場管理 ●放流事業促進 ●掃海活動 ●流域生態系の総合資源管理の仕組み作り ●管理ルールづくりと遵守徹底 ●資源の調査研究の推進	●河川環境との共生 ●浜名湖内水域、湖岸の環境保全 ●遠州灘海岸保全と侵食対策 ●市民との協働による環境保全、資源保護活動の促進	●IT活用による情報発信、収集分析：基盤と手法の整備、情報の共有 ●魚食文化の啓発、普及 ●NPO法人等の活動との協調 ●体験学習施設ウオットとの連携	●水産業と地域産業の融合、複合化の推進、新たな付加価値と関連産業の創造 ●観光資源化できる水産資源および水産業の創出

基本理念	水産業振興戦略	リーディングプロジェクト	重点プロジェクト	個別プロジェクト		関係する組織 国	県	市	民間	実施期間
やらまいか！ 元気でにぎわいのある浜松の水産業	Ⅰ水産業経営の安定化戦略	1. 水産業経営の基盤整備	1-1舞阪漁港整備と機能保全	1-1-1舞阪漁港整備と機能保全への支援	県の進める今後の施設整備事業に加えて機能保全面からの漁港のあり方を協議する取り組みを支援する。		○	◎	○	短～長
			1-2村櫛漁港整備と機能保全	1-2-1村櫛漁港整備・機能保全再構築	整備・機能保全計画検討チームを設置し、漁業者と検討しながら事業としての測量設計、施設整備工事を行う			◎	○	短～長
			1-3ノリ養殖施設改善	1-3-1ノリ養殖施設改善	ノリ養殖体制の計画、施設の運営管理計画を策定し、施設修繕設計、施設修繕工事を行う		○	○	◎	短・中
			1-4航路安全確保	1-4-1航路維持しゅんせつ	村櫛漁港区域航路のしゅんせつ計画・設計を行い、しゅんせつ工事を実施し、覆砂による土砂処理を行う			◎	○	短
			1-5増殖場造成	1-5-1覆砂	覆砂による漁場造成を計画し、造成後の維持管理計画を策定する			◎	○	短～長
			1-6魚礁漁場造成	1-6-1広域漁場整備	遠州灘沖にマウンド造成による湧昇流を発生させ、漁場を造成する		◎		○	中・長
			1-7養殖用水確保	1-7-1地下水規制緩和検討支援	地下水の使用実態、確保実態と現行規制について課題と対策を協議する		○	○	○	中
			1-8河川整備計画対応	1-8-1漁場整備	河川整備計画に連動した産卵場の造成、魚道整備等について生産者として取り組む				◎	中・長
			1-9経営基盤支援	1-9-1水産用医薬品利用促進支援	養殖魚における水産用医薬品の研究、利用、適正な使用を促進する	○	○	○	○	中・長
				1-9-2制度資金融資	漁業経営の支援として、漁業近代化資金などの制度資金の活用を推進する		○	○	○	短～長
				1-9-3漁協再編支援	漁協の進める経営強化対策に基づく地域漁協の統合、生産市場の統合の促進を支援する		○		◎	中
				1-9-4人づくり支援	担い手の就業、後継者の育成、新規参入者の受入、経営者の育成、リーダーの育成などを支援する		○	○	○	長
		2. 水産物価値の向上・安定	2-1生産者、仲買共同の販路開拓	2-1-1地元販路開拓	生産者、仲買人の販路開拓協働体制を立ち上げ、行政はPRを支援する			○	◎	短・中
			2-2消費者ニーズの把握	2-2-1えんばい朝市*)展開	えんばい朝市の経営展開により積極的に生産者、仲買人が消費者ニーズの把握に努める			○	◎	短
				2-2-2常設直販所計画推進	舞阪・村櫛漁港再整備において、常設の直売所、食堂などの施設整備を検討する		○	○	◎	長
			2-3衛生管理対策	2-3-1地域衛生管理計画検討協議会	沿岸、湖面漁業における施設整備だけに頼らない衛生管理体制について検討協議する		○	○	○	中
				2-3-2地域衛生管理施設整備	衛生管理施設整備計画の具体化、施設の設計・施工、管理運営システムの構築を推進する	○	◎	◎	◎	長
			2-4水産物流通の透明性の確保	2-4-1トレーサビリティ推進	各業態に見合ったトレーサビリティシステムの推進を図る		○	○	◎	中・長
			2-5新たな地域水産物（ブランド）の開発	2-5-1ブランド開発	目玉となる特色ある水産物・加工品を掘り起こしたり、未利用、知名度の低い水産物・加工品を積極的に売り出す		○	○	◎	短・中
			2-6地元消費拡大	2-6-1浜松市水産物旬のカレンダー	「浜松水産物旬のカレンダー」を製作し、関係団体、学校、企業に配布する			◎	○	短
				2-6-2学校給食地産地消推進	学校給食会および献立作成委員会へ地産地消と自給率の向上を働きかける			◎	○	短
				2-6-3地産地消推進	病院や大手企業などの食堂に地場水産物を使った献立の積極的導入を働きかける			◎	○	短
				2-6-4地域産メニュー開発促進	プロアマ問わない地元産お魚料理コンテストを開催し、地域産メニュー開発チームを結成する			◎	○	中
			2-7販売促進PR活動の推進	2-7-1地場産品PR推進	生産者、流通業者、水産加工業、販売店、飲食業、行政が一体となって地場水産物のPRに取り組む			◎	○	短
				2-7-2インターネット環境活用推進	関係漁協におけるインターネット環境の活用を推進し、関係漁協・関係機関・企業とリンクする			○	◎	短
				2-7-3地産地消マップ作成	浜松市域で地元農水産物を取り扱う料理店・レストランなどのマップを作成し、配布する			◎	○	短
				2-7-4ブランド販売促進	ブランド開発プロジェクトと連動した販売促進PR活動を推進する			○	◎	中・長
	Ⅱ水産資源の持続的利活用戦略	3. 持続的な資源管理	3-1地域特性を反映した漁業調整	3-1-1地域漁業調整勉強会	資源管理と漁業調整について生産者が勉強する会を組織し、地域の操業特性と資源管理のあり方を協議する		○	○	◎	中・長
			3-2造成漁場管理	3-2-1造成漁場維持管理	浜名湖内の既存の造成漁場、計画する造成漁場について維持管理体制づくりを推進する		○	○	◎	短・中
			3-3放流事業促進	3-3-1放流事業推進	種苗センターの拡充と機能強化により放流事業の充実を図り、水産資源の増強を推進する			○	◎	中
				3-3-2内水面放流事業推進	佐鳴湖・都田川や天竜川流域における種苗生産と放流および管理の充実を図る		○		◎	中
				3-3-3市民放流事業イベント	各地域で実施する放流事業への市民参加を促進する			○	◎	短
			3-4掃海活動	3-4-1アオサ除去・利活用	浜名湖内のアオサ除去を推進し、除去アオサの利活用を推進する		○	○	◎	中・長
			3-5流域生態系の総合資源管理の仕組みつくり	3-5-1流域資源管理関係協議会	天竜川、浜名湖、遠州灘を取りまく自然環境及び水産資源の保全や管理体制の連携強化を図る協議会の整備、推進	○	○	○	○	長
				3-5-2資源管理資料保管整備	地域の川や湖に生息する生物の種の変遷を資料として整理し、保存し、提供する			○	◎	中
			3-6管理ルールづくりと遵守徹底	3-6-1資源管理意識徹底	漁業者の資源管理意識を再確認し遵守徹底を図る、市民を含めた資源管理ルールの整備と遵守徹底に努める		○	○	◎	中
			3-7資源の調査研究の推進	3-7-1調査研究支援及び成果の活用	水産技術研究所の研究活動（現場調査）へ参加し、研究成果を漁業活動に活用する		◎	○	◎	短～長
		4. 水産資源の背景としての環境保全	4-1河川環境との共生	4-1-1天竜川水系河川整備計画との共生	内水面漁業の立場から天竜川水系河川整備計画と協調して資源、自然環境の保全に努める	◎	○	○	○	長
				4-1-2てんはまエコミュージアム推進	市事業「てんはまエコミュージアム推進事業」*)と連携し、天竜川・浜名湖の自然環境の保全と有効活用を推進する			◎	○	中
			4-2浜名湖内水域、湖岸の環境保全	4-2-1浜名湖水域環境保全	市事業「浜名湖の環境保全と流域の活性化」と連携し、水産資源の背景となる環境の保全を推進する			◎	○	中・長
			4-3遠州灘海岸保全対策と侵食対策	4-3-1侵食対策モニタリング支援	沿岸漁業者として海岸侵食に関わる海域環境のモニターとしての役割、システムを構築する	○	◎	○	○	長
			4-4市民との協働による環境保全、資保護活動の促進	4-4-1市民参加海山川環境保全推進	市事業「森の復権プロジェクト」*)と連携し、水産業の立場から参画し事業を推進する			◎	○	長
	Ⅲ水産業の情報戦略	5. 水産業情報の提供と活用	5-1IT活用による情報発信、収集分析：基盤と手法の整備、情報の共有	5-1-1ホームページネットワーク構築	『情報循環システム』として関係漁協のホームページネットワークを整備し、関係機関とのリンクにより情報を発信する			○	◎	短・中
			5-2魚食文化の啓発、普及	5-2-1地元のさかな、料理普及推進	えんばい朝市における地元ならではの料理の紹介、提供を進め、漁港整備計画における常設施設へ展開する			○	◎	短
			5-3NPO法人等の活動との協調	5-3-1NPO法人活動支援	NPO法人の活動の広報、関係機関調整等を支援する			◎	○	短
			5-4体験学習施設との連携	5-4-1ウォット連携	体験学習施設と連携し、浜名湖、地域の水産業に対する市民の理解を深める活動を推進する		◎	○	○	短・中
	Ⅳ水産業クラスター形成戦略	6. 水産業と地域産業の**連携促進**	6-1水産業と地域産業の融合、複合化推進、新たな付加価値と関連産業創造	6-1-1未利用資源有効活用研究	未利用資源、廃棄資源などの再利用研究に関する連携先を検討する		○	○	◎	長
			6-2観光資源化できる水産資源および水産業の創出	6-2-1“海業”*)創出	地域の自然環境や水産資源を観光資源として活用する手段、生業として“海業”創出を推進する		○	○	◎	中

図2　浜松市水産業振興基本計画体系図

凡　例
○：主に関係する組織　◎：中心となって取り組む組織